

2020

～新しい「公」づくり市民の皆様と～

11はじめよう!



CONTENTS

事業所の行事より	P 2～P 3
敬老会／コンサート／秋の遠足	
チャレンジドクラブだより	P 2
現場で働くスタッフの声	P 4
ゆめくれよん+活動報告	P 4
第1回居住支援勉強会報告	P 4
7月～9月 活動実績	P 5
移動サービス運転者講習会開催案内	P 5
7月～9月 会の動き	P 6
カーシェアリング協会より	P 6
認定NPO再取得へのお詫び	P 7
グループ事業所案内	P 8



秋晴れの日に神崎のコスモス畑へ！(まちのホーム循誘)



**市民生活支援センター
ふくしの家**

次期介護保険改正 地域包括ケアの推進 「絶え間なく」

ここにきて、介護保険の中で「地域づくり」や「住民参加」が語られるようになつてきました。そして今、医療や介護だけでなく、住民も含めたあらゆる資源を駆使し、総動員してやるという地域包括ケアの概念が強く打ち出されています。そもそも地域包括ケアの概念は2004年に提唱されていますが、NPOの独自支援と同じようにこの概念もまた表に出るのにかなりの時間を要しています。しかし今日、これまでの介護保険の反省に触れつつ、その持続可能性の必要な素地として地域包括ケア・地域づくり・住民参加等が強く打ち出されています。

立ち上げ当初から、専門職だけでなく、住民も役割を果たし、日常の中で助け合うことが、新しい福祉サービスのあり方という感覚をずっと引っ張ってきて24年、当時、肌感覚で提唱してきたことは、今では介護予防や生活支援に資するものとして、全国中でそのデータが蓄積されています。自身の健康は自分で守る努力をすること、人がふれ合い支え合うことが健康寿命を延ばすこと、それが結果的に元気な町につながり、自分の介護保険料の負担を軽減し、社会保障費の抑制にも貢献するといったことなど、以前はあまり言えなかつたこともだいぶ言いやすくなっています。これから施設の方は、介護保険のようなフォーマルなサービスだけではなく、自助や互助を推進し、地域づくりに貢献するための発信者・実践者である必要があると考えます。

平成30年度に介護保険の改正が行われ、次期令和3年度の改正が迫っています。30年度の内容の更なる深化、内容の多くが踏襲され、地域包括ケアシステムは「絶え間なく」やつていくとされました。介護保険の中に住民が参画した「地域づくり」が入り、介護保険は次のステップに入ったといえます。大きな転換期ですが、共に乗り越えていきましょう。

理事長 江口陽介



鍋島シェストビル 1F のカフェスペースで久しぶりに、ぶどうの木クリニックからの「けいちゃん・あいちゃん」コンサートが開催されました。まちのホーム医大前皆さまのいい笑顔、いつまでもお元気で！



チャレンジドクラブだより

チャレンジドクラブの夏休みの活動を紹介します。今年はコロナ禍の中でサマーレクレーションの開催を断念せざるを得ず、それに代わるものとして子どもたちと一緒に手形の入ったうちわ作りをしました。

またスタッフは子ども達の利用時間内の空き時間を活用し、季節感を感じる室内飾りをフェルトなどを使って作成しています。チャレンジドクラブの入り口には、お花や観葉植物を育て、利用される子ども達や父兄の方に家庭的な雰囲気を感じてもらえたたらという思いで水やりや草取りを頑張っています。



校内の先生や父兄の方からも「ほっとくつろげる部屋ですね」など、喜んでいただき、スタッフもやりがいを感じ、更に新たな作品づくりに挑戦したいと思っています。

(管理者 川崎)

~ 2 ~



まちのホーム医大前 4F での別の日、スタッフによるフットマッサージとハンドネイルのイベントがあり、楽しく過ごされました!!





まちのホーム循誘



まちのホーム循誘・ケアホームにも「けいちゃん・あいちゃん」来てくれました。唄はもちろんトークが面白いので皆さん笑顔です！

敬老会では米寿の方には表彰状を贈りお祝いしました。喜んでいただけたでしょうか。今後益々のご健康を祈念いたします。



10月30日

(金)に徒歩で下村公園まで秋の遠足として行ってきました。ちゃんと並んで歩きました～

「お母さんのお弁当おいしかったよ♪」

「転んだけど泣かなかったよ！」それから先生にしようとくしてもらいました。「先生、ありがとうございました。」



まちの子ども保育園

職場復帰をして

まちのホーム循誘 静山 美保子

私は、昨年8月まちのホーム循誘に復職しました。前回は、子ども3人が小学生になり、仕事を再開しようと、まちのホーム循誘に採用していただきました。が、子育てしながらの仕事復帰に大変さ・難しさを感じ、身体的にもきつくなり退職をお願いしました。

その後は全く別の仕事に約2年就きましたが、やつぱり看護・介護の仕事がしたいという想いが強くなり、まちのホーム循誘に復職させていただきました。

懐かしい顔ぶれのスタッフさんや、初めまし

てのスタッフさん共に温かく迎えていただき、また復職した私に「久しぶり。覚えてるよ」と名前を呼んでくださる利用者様もいて、とても嬉しかったです。

復職して1年が過ぎましたが、これからもみなさんと協力して、利用者様が安心・安全に過ごせるよう、看護また介護を行っていきたいと思います。



写真は、まちのホーム医大前
神無月（10月）のカレンダーです。
まだまだ、食欲の秋続いています！



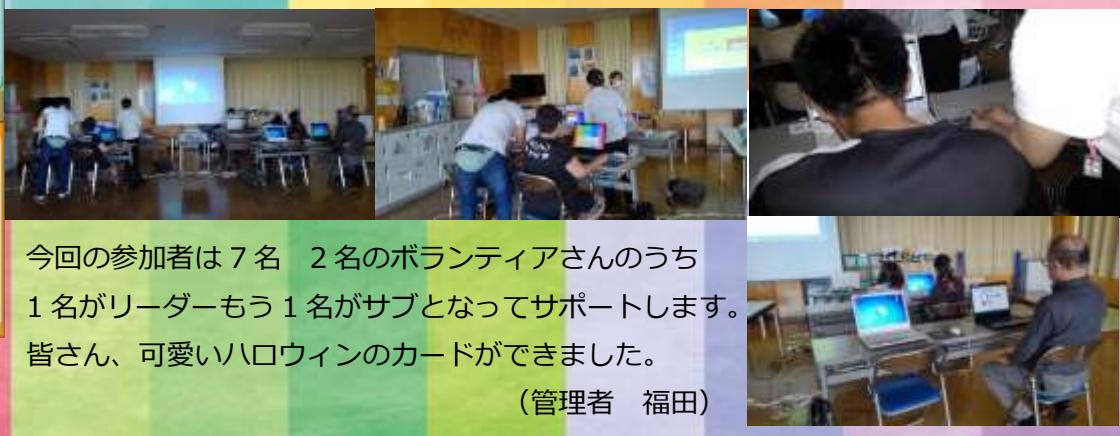
ゆめくれよん+ 活動報告

◆ふくしの家パソコン教室 9月16日開催 めぐみ園
コロナ禍のため2ヶ月遅れでの開催となりました！
来年3月までに7回の開催予定です。



今回の参加者は7名 2名のボランティアさんのうち1名がリーダーもう1名がサブとなってサポートします。皆さん、可愛いハロウィンのカードができました。

(管理者 福田)



今回、不慣れなためにはじめにスムーズな進行が出来なかつたことや、出席された方へのアンケートを実施しなかつたことを踏まえ、次回はより良い勉強会にしたいと

講師にNPO法人空家・空地活用サポートSAGA代表理事の塚原功氏をお招きし、医療関係者と考える退院支援と居住支援というテーマで、勉強会を開催しました。現在、塚原氏の法人には佐賀市生活自立支援センター等から多々支援の要請を受けては解決されています。その事例をいくつか紹介された事で、後日個別相談をお願いしたいという声も聞かれ、勉強会を開いた意義があつたように思います。



第1回
高齢者・障がい者
生活弱者の方々の
住まいの安心を
考える勉強会

*

令和2年10月3日
14:00~16:00
鍋島シェストビル1F
カフェハーモニー鍋島

会の実績

訪問介護

福祉有償運送

	まちの移動ケアサービス				ふくしの家		
	7月	8月	9月		7月	8月	9月
介護輸送	683	584	628	実利用人数	5	5	5
身体・生活	122	109	127	延回数	27	28	26

小規模多機能型居宅介護

	まちのホーム医大前			まちのホーム循誘		
	7月	8月	9月	7月	8月	9月
開所日数	30	31	30	30	31	30
実利用人数	25	24	25	29	28	29

住宅型有料老人ホーム

	ケアホームふくしの家				サンコートなべしま				ふくしの家		
	7月	8月	9月		7月	8月	9月		7月	8月	9月
開所日数	30	31	30	開所日数	30	31	30	開所日数	30	31	30
実利用人数	21	21	21	実利用人数	13	13	13	実利用人数	5	5	5

特別支援学校放課後児童クラブ（佐賀市委託事業）

	チャレンジドクラブ				かがやきクラブ				ふくしの家		
	7月	8月	9月		7月	8月	9月		7月	8月	9月
開所日数	23	22	21	開所日数	22	18	19	開所日数	21	21	20
延利用人数	74	66	62	延利用人数	141	116	127	実利用人数	5	5	5

居住支援事業

	いきいき住まいサポート		
	7月	8月	9月
開所日数	21	21	20

障がい者ICTサポートセンター（佐賀県委託事業）

	ゆめくれよん+		
	7月	8月	9月
ボランティア派遣	26	19	20
パソコン教室	15	6	7
ボランティア養成	3	0	2
ボランティアスキルアップ勉強会	0	0	0
ふくしの家パソコン事業	7	5	15

子育て支援事業

	まちの子ども保育園		
	7月	8月	9月
開所日数	25	25	24
通常保育	172	159	131
一時保育	54	48	59
休日保育	0	0	0

ささえあい/有料サービス（循誘地区）

	ふくしの家		
	7月	8月	9月
配食延回数	198	189	224
その他	5	4	4

サロン（カフェハーモニー鍋島と協働） サロン（紺屋町と協働）

	ハーモニー鍋島				来ん家		
	7月	8月	9月		7月	8月	9月
開所日数	13	10	14	開所日数	4	3	4
延利用人数	155	97	172	延利用人数	26	16	22



まちの子ども保育園の日常「芋ほり」「お誕生日おめでとう」他

~ 5 ~



受講者募集中

移動サービス認定運転者講習会

(国交省大臣認定)

2月16日(土)～2月17日(日)

令和3年2月に嬉野市で

予定しています。

お申込みください！

変更等ありましたら下記HPにて

お知らせいたします。

<http://www.fukushinoie.jp/>





会の動き

- 1日 西川登町第2層協議体 講師派遣（移動支援）
2日 さわやか九州1ブロックWEB会議
7日 佐賀市生活支援コーディネーター連絡会研修・講師派遣
9日 日常生活支援ルームぷりん実地指導
認知症サポーター養成講座・講師派遣／佐賀銀行研修
10日 総合事業におけるボランティア参画調査研究事業委員会・オンライン出席・市民協
13日 移動支援講師派遣・長崎県山田館浦まち協 15日 市民福祉団体全国協議会佐賀支部・杉本氏来訪
16日 江北町老人クラブ友愛ボランティア研修・講師派遣 認知症サポーター養成講座・佐賀銀行研修に講師派遣
20日 市民協老健事業デルファイ法インタビュー
21日 月次決算報告 22日 佐賀市生活支援コーディネーター研修会・講師派遣
28日 まちのホーム医大前運営推進会議 日本カーシェアリング協会佐賀支部訪問



- 3日 さわやか福祉財団オンライン会議参加
5日 まちのホーム医大前内部研修（オムツ）
12日 ひなた整骨院院長来訪・居場所づくりの件
18日 市民協佐賀支部杉本氏来訪
19日 佐賀県地域共生ステーション連絡会世話人会
24日 ふくしの家理事会 26日 まちのホーム循誘運営推進会議
27日 月次決算報告 まちのホーム循誘運営会議 まちのホーム医大前会議



- 3日 佐賀県認知症介護実践者研修講師派遣
8日 移動サービスについて取材・佐賀新聞山本氏
14日 国勢調査説明会
17日 まちのホーム医大前運営推進会議／佐賀県障害福祉課来訪
18日 みやき町第1層協議体・アドバイザー派遣
24日 月次決算報告／佐賀県地域共生ステーション中部ブロック会議
25日 まちのホーム医大前ケア会議
29日 新型コロナ対応緊急支援助成事業実施オリエンテーション／まちのホーム循誘運営会議



■九州で初開催。武雄でコミュニティ・カーシェア説明会

- コミュニティ・カーシェアリングについて詳しくは
<https://www.japan-csa.org/action/carshare>.

様々な地域でコミュニティ・カーシェアのお話をさせていただいているが、これまで九州で依頼いただいたことはありませんでした。それが、なんと九州支部を設置した武雄市の東川登町の地域の方々から依頼を受け、

実現しました。佐賀移動ネットの江口代表がこの地域で今月上旬に移動支援の講師としてお話をされた中で、コミュニティ・カーシェアの紹介をしていただいたところ、地域の方々に关心を持っていただき私(吉澤)の佐賀訪問に合わせてセッティングいただきました。九州支部を設置したので、佐賀県でコミュニティ・カーシェアのお手伝いができるなら、と思っていた矢先、まさか九州支部を設置した地域からお声がかかるとは夢にも思いませんでした。地域のみなさん、本当に熱心に聞いてください、嬉しくなるほど、質問もいっぱいいただきました。これから地域の中で話し合っていただくことです。「これはやらない手はない…」といった嬉しい声も聞こえてきました。実現するといいなあ～。 ~一般社団法人 日本カーシェアリング協会 HPより抜粋~



認定NPO法人の再取得についてお詫び及び令和2年度寄附のお願い

この度、例年この季節にお願いしております認定NPO法人の寄付について、ご報告（お詫び）及びお願いとなります。会として25年目になりますが、平成8年に任意団体、平成11年にNPO法人、多くの方のご協力のもと、平成27年3月に県内で6番目の認定NPO法人となりました。認定NPO法人は、所轄庁がNPO法人のうち、その運営組織及び事業活動が適正であり公益の増進に資する法人であると認定した法人です。

この認定NPO法人について5年に1度の更新が義務づけられていますが、昨年度の更新審査の結果、一部認定基準が満たせず、昨年度3月に認定を取り下げております。せっかく認定を受けたにもかかわらず、今回の取り下げとなってしまい、これまでご支援いただいた多くの皆様に深くお詫び致します。

今後、指摘を受けた事項の改善を図り、認定基準に基づいた運営がなされるよう努力し、再度認定を目指してまいります。認定取得までの実績判定期間はあと4年半と長いのですが、認定基準をクリアすることは、日常の組織の健全運営にもつながるものと捉えており、認定申請に再度チャレンジしてまいります。これまで適用されていた寄附者の所得税及び住民税の寄附金控除は認定されるまでご案内できませんが、再認定取得のため、認定NPO法人の基準である、年間一口3千円からの寄付者100名以上のお一人として、引き続き本会のNPO活動にご賛同いただければ存じます。尚、「寄附する」「寄附しない」は、あくまで皆様方のご意志（任意）によるものです。これによってサービス等に影響があるということは一切ございません。

今後も地域のNPOとして社会福祉発展のため尽力してまいります。趣旨にご賛同いただけき、ご支援いただければ幸いです。

特定非営利活動法人 市民生活支援センターふくしの家 理事長 江口 陽介



木とのふれあいの感覚

木材の手触り

木材は金属など他の素材に比べて人にやさしく、しかも面白みのある材料であることが経験的に知られています。

人は500万年前にヒトになったと言われていますが、木は最も長く人とかかわっている素材の一つであることに関連するかもしれません。

目を閉じた状態で、木材（ヒノキ、キリ、ナラの挽材面※1と鉋削面※2の6種類）と、ガラス、金属、ビニール、紙やすり、ゴザ、人工芝、タフシ、タオル、綿の合計15種類の素材に触らせ、血圧や脳波の生理応答測定と官能評価による印象の調査を行いました。その結果、官能評価においては、木材は自然な感じがするという印象で、血圧は図に示すように、低下することがわかりました。不快であると評価されていたガラスへの接触は、血圧の上昇を起こしていました。

脳波測定では、被験者が単に木材の上に手を置いただけの場合は、脳の活動は他の素材に比べて変わらないか、やや弱いことが示されました。これは、木材が人にやさしいという実感と一致するものと思われます。それに対し、積極的に木材をなでた場合は脳の活動が他の素材に比べて活発になり、木材が興味深い材料であるという実感と一致する結果を示しました。木材への接触は他の素材に比べて経験的にさまざまな効用を持つことが知られていますが、現在、少しずつ実質的なデータの蓄積が始まっています。



木材への接触による脳波と
血圧の連続測定の実験風景

※1 挽材（ひきざい）…素材（丸太・原木）を鋸挽きした木材製品

※2 鉋削（ほうさく）…かんなで材料の表面を平らに削ること



特定非営利活動法人
活木活木（いきいき）森ネットワーク

■ふくしの家事務局より

2014年の8月号より年4回（2月・5月・8月・11月）会報を発行しています。元号も平成から令和となりコロナ禍という思いがけない事態になりました。その間にふくしの家にもいくつかの変化がありました。事業所の統合、決算期が9月末から3月末へ変更、認定NPOを取得したにもかかわらず、やむを得ずの取り下げ等々。2021年より会報の発行を（1月・4月・7月・10月）に変更し、気持ちも新たに取り組みたいと思います。皆さん、よろしくお願ひいたします。

- ケアホームふくしの家【住宅型有料老人ホーム】
佐賀市東佐賀16番2号／電話0952-37-5102
- まちのホーム循誘【小規模多機能型居宅介護】・グループホームじゅんゆう寮【共同生活援助】
佐賀市東佐賀16番2号／電話0952-28-4286
- まちの移動ケアサービス 鍋島センター【訪問介護・居宅介護・福祉輸送事業限定・自家用自動車有償運送】
佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー3F／電話0952-34-2790
- まちの子ども保育園【佐賀市認可小規模保育施設】
佐賀市大財6丁目4番4-66号／電話0952-22-3744
- 佐賀県障がい者ICTサポートセンター「ゆめくれよん+【佐賀県委託事業】」
佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー北側／電話0952-36-6977
- 市民生活支援センターふくしの家事務局
佐賀県地域共生ステーション連絡会事務局／さが福祉移動サービス・ネットワーク事務局
いきいき住まいサポート【住宅確保要配慮者居住支援法人指定事業】
佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー3F／電話0952-36-6865
- 金立特別支援学校放課後児童クラブ「チャレンジドクラブ」／電話090-9566-6768【佐賀市委託事業】
- 大和特別支援学校放課後児童クラブ「大和かがやきクラブ」／電話090-7475-8989【佐賀市委託事業】
- まちのホーム医大前【小規模多機能型居宅介護】／総合福祉ビルハーモニー窓口
佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー4F／電話0952-36-6113
- サンコートなべしま【住宅型有料老人ホーム】
佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー5F／電話0952-36-6113
- まちの居場所来ん家
佐賀市紺屋町1番14号／電話0952-36-6865
- カフェハーモニー鍋島
佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー1F／電話0952-36-6885



ICTボランティア養成講座のご案内

11月25日(木)～26日(金) 10:00～16:00
唐津市障がい者支援センター「りんく」 2F

養成講座は障害への理解や対応の座学や、障害に応じたICT活用の具体例などを学びます。全行程受講後「ボランティア登録」をし、活動可能なエリアで無理なく楽しく活動して頂きます。障害のある方のためのICT教室の講師や、講師のお手伝い、障害のある方のご自宅へ直接お伺いして、パソコンサポート等の活動など。

障がいのある方のパソコンサポートしてみませんか！ お気軽にお問合せください！

佐賀県障害者ICTサポートセンター「ゆめくれよん+」
☎ 0952-36-6977

はじめよう！11月号

【編集／印刷】

特定非営利活動法人 市民生活支援センター ふくしの家

〒849-0937 佐賀県佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェスト
総合福祉ビルハーモニー3F
TEL (0952) 36-6865 FAX (0952) 36-6895
E-mail fukusinoie@world.ocn.ne.jp



ホームページ <http://www.fukushinoie.jp>

皆さん、アクセスしてくださいね！